

学校欠席者サーベイランスの一般公開について

【導入の経緯】

- 県では医療政策部保健予防課が中心となり、平成21年に流行した「インフルエンザ（H1N1）2009」への対応を踏まえ、インフルエンザ等感染症へのサーベイランス体制の向上を目的に、国立感染症研究所感染症情報センターが運営する「学校欠席者サーベイランス」を導入することとなった。

【現状】

- 平成24年1月16日より、県下のインターネット環境が整備されているすべての学校（園）等において運用を開始している。

<参考>

全国では、19県の約18,000校で導入済み（全国の小中高の約40%）

- ログインID、パスワードを付与されている者のみ閲覧することができる。

<参考>

- ・域内市町村：中学校区単位の情報を閲覧することができる。
- ・域外市町村：市町村単位の情報を閲覧することができる。

- 現在、一般公開は行っていない。

<理由>

- ・システムへの入力が円滑に行われるまで時間を要するため。
- ・入力ミス等による混乱を避けるため。

【一般公開について】

- 保健予防課より一般公開に係る依頼あり。



- 県教委としての考え方

- ・システムへの入力が円滑に行われるようになった。
- ・感染症に対する保護者への意識啓発に有効である。
- ・開始当初より学校、保護者からの公開についての要望がある。



- これらのことを踏まえ、一般公開する。

- 一般公開の内容について

- ・国立感染症情報センターのHP上での公開となる。
- ・保健予防課HP及び保健体育課HPから、国立感染症情報センターHPへリンクを貼る。

<閲覧できる情報>

- ・白地図上に市町村単位での状況が色分けされて閲覧可能となる。
感染症による欠席者の状況
感染症による出席停止の状況等
※個人情報は一切含まない。

<参考>

【HP上での閲覧方法】

- 1 グーグル検索で「学校欠席者サーベイランス」と入力し検索する。
- 2 検索結果の中から、「学校欠席者情報収集システム」をクリックする。
- 3 日本地図の白地図画面が出てくる。
- 4 奈良県の位置をクリックする。
- 5 県内の市町村別の情報が閲覧できる。→ 別紙参照

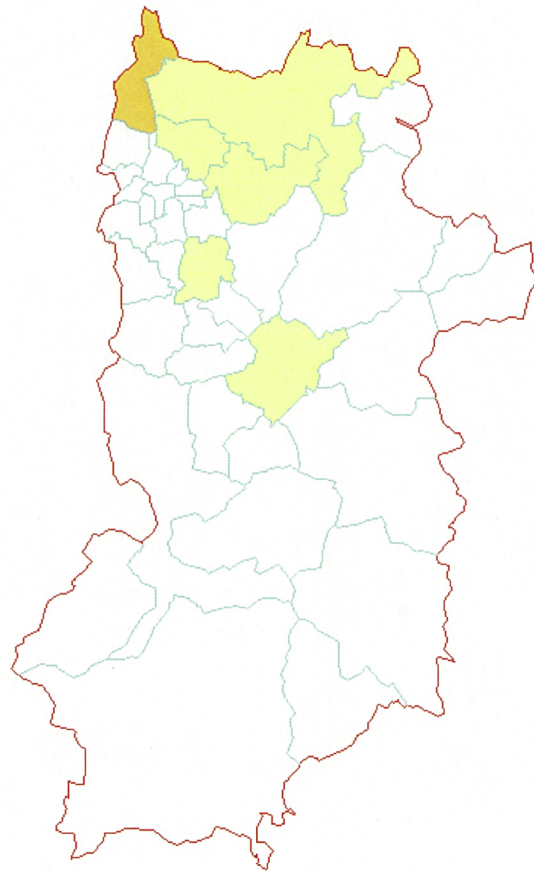
●都道府県の状況 [全国地図に戻る](#)

都道府県名: 奈良県

※日付変更を行った場合はこのボタンを押して下さい！

<< 前日
2012
▼
年
9
▼
月
21
▼
日
再表示
翌日 >>

- | | | |
|--|--|--|
| <p>欠席者</p> <p>急性呼吸器症状</p> <p>発疹</p> <p>出席停止・疾患の登録(インフルエンザ)</p> <p>出席停止・疾患の登録(感染性胃腸炎)</p> | <p>発熱</p> <p>下痢・腹痛</p> <p>インフルエンザ様症状</p> <p>出席停止・疾患の登録(感染性胃腸炎)</p> | <p>頭痛</p> <p>嘔気・嘔吐</p> <p>学級閉鎖</p> <p>出席停止・疾患の登録
(インフル・感染性胃腸炎以外合計)</p> |
|--|--|--|



集計日時: 2012年10月17日 PM 1:00



上記の色は、
 学級閉鎖については臨時休業によって閉鎖されているクラス数
 出席停止・疾患の登録についてはその人数
 それ以外については過去 1 週間に比べ異常に欠席者が増加しているクラス数を示しております。

本システムについてのお問い合わせは、
 国立感染症研究所 主任研究官 大日康史(ohkusa@nih.go.jp)までご連絡ください